

昭和54年10月1日

毎月1回10日発行

令和元年10月10日

頒価 一部100円

第3種郵便物認可

名古屋手をつなぐ No.521 (10月号)

名古屋

名古屋

〒456-0031

社会福祉法人

名古屋市熱田区神宮四丁目4番5号

名古屋手をつなぐ育成会 印刷・発行

☎ 052(671)6211(代)

発行責任者 理事長 山崎 梅治

FAX 052(671)6214

ホームページ URL <http://www.nagoyaikuseikai.or.jp>

ダイヤナバリー しずか



ポリアンナ



虹野ゆめ ルビー キリーズ



「私の好きなアニメのキャラクター」

第52回 手をつなぐ育成会東海北陸大会・石川大会

スローガン：**私たちの暮らすまちで実現しよう
共生の地域社会を！！**

— 私らしく 共に暮らす 共に生きる —

日時：元年9月14日(土)～15日(日) 場所：金沢市(石川県地場産業振興センター)

大会は晴天に恵まれ、1,000名を超える参加者が、東海北陸の1市7県から集まり、充実した大会となりました。名古屋手をつなぐ育成会は、永田副理事長以下56名が参加しました。

1日目は、午後からの開催で、石川県地場産業振興センターの各室に分かれ、7つの分科会が、多岐にわたるテーマで話し合われました。（分科会報告は8～11ページに掲載しています。）

2日目は、大ホールで大会式典の後、シンポジウムが行われ、久保会長、毎日新聞社論説委員野澤和弘氏、「親なきあと」相談室主宰 渡辺伸氏の3者が、全国手をつなぐ育成会政策センター委員 又村あおい氏の司会進行で「近時の障害者施策について～中央情勢報告を兼ねて～」をテーマに話し合われました。



大会式典



宿泊参加の皆さん

シンポジウムのテーマは5点。最初は、教育分野の動きについてです。文部科学省の障害者活躍推進プランの概要と家庭・教育・福祉の連携「トライアングル」プロジェクトについて説明があり、文科省と厚労省の連携強化により地域での障害児通所支援事業所と学校と家庭の切れ目のない支援につながることを期待されました。

2点目は、地域生活分野の動きについてです。障害者及び障害児の入所施設や病院からの地域移行を進め、障害者の高齢化・重度化に備えるための地域生活支援拠点を整備するためには、地域の特性に合わせた方向性を地域の関係機関で話し合っって検討することが有効だと話されました。

3点目は、就労分野の動きについてです。平成30年に設けられた就労定着に向けた支援を行う新たなサービス（就労定着支援）について説明されました。

4点目は、高齢化分野の動きについてです。高齢の障害者に介護保険が適用される際の負担軽減条件としては、65歳に達する日以前の5年間にわたりヘルパー、ショートステイ、生活介護の支給決定を受けて使っている支援区分2以上の低所得の方で、65歳になるまで介護保険サービスを利用してこなかったことが必要だそうです。

5点目は、育成会活動分野の動きについてです。全国で広がりつつある擬似体験を実施するプログラムが、参加者、啓発者双方の気づきの変化や意識寛容につながり、共生社会に近づく可能性を高める効果があると話されました。1時間程度の短い時間でしたが、充実したシンポジウムでした。

令和2年度 厚生労働省 障害保健福祉部概算要求の概要

厚生労働省のホームページに

来年度予算要求が掲載されました

厚生労働省の令和2年度予算概算要求は、人生100年時代に対応した全世代型社会保障の構築に取り組むとともに、成長と分配の好循環の拡大を図るため、「1. 多様な就労・社会参加の促進」(「多様な人材の活躍促進」として「障害者の就労促進」等を含む)、「2. 健康寿命延伸等に向けた保健・医療・介護の充実」、「3. 安心・安全な暮らしの確保等」(「障害児・者支援、自殺総合対策、依存症対策の推進」として「障害児・者支援の推進」を含む)を柱として、増額で重点的要求を行っています。しかしながら、7月31日出された概算要求についての閣議了解では「新経済・財政再生計画の枠組みの下、手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組む」とされており、厳しい情勢にあるようです。

令和2年度厚生労働省障害保健福祉部概算要求の概要の抜粋

◆障害保健福祉部予算額(元年度予算額)(2年度要求額)(対前年度増▲減額、伸率) 1兆9,896億円 → 2兆1,745億円(+1,579億円、+7.9%)

◆障害福祉サービス関係費(自立支援給付費+障害児措置費・給付費+地域生活支援事業費等)(元年度予算額)(2年度要求額)(対前年度増▲減額、伸率)

1兆5,037億円 → 1兆6,360億円(+1,323億円、+8.8%)

【主な事項】 ※数字は令和2年度予算(令和元年度額)となっています。

- 良質な障害福祉サービス、障害児支援の確保 1兆5,789億円(1兆4,542億円)
- 地域生活支援事業等の拡充【一部新規】 571億円(495億円)
- 障害福祉サービス提供体制の基盤整備 80億円(69億円)
- 聴覚障害児への支援など障害児支援の推進【一部新規】 24億円(2.0億円)
- 芸術文化活動の支援の推進【一部新規】 4.6億円(3.0億円)
- 視覚障害者等の読書環境の向上【一部新規】 5.3億円(3.8億円)
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築【一部新規】 10億円(5.7億円)
- 発達障害児・発達障害者の支援施策の推進【一部新規】 5.2億円(3.8億円)
- 障害者に対する就労支援の推進【一部新規】 17億円(14億円)
- 依存症対策の推進【一部新規】 12億円(8.1億円)

1. 障害福祉サービス等の確保、地域生活支援などの障害児・障害者支援の推進

2兆1,242億円(1兆9,668億円)

○ 障害福祉サービス等の確保、地域生活支援等

(1) 障害児・障害者に対する良質な障害福祉サービス、障害児支援の確保

1兆5,789億円(1兆4,542億円)うち障害児支援関係 3,439億円(2,810億円)

障害児・障害者が地域や住み慣れた場所で暮らすために必要な障害福祉サービスや障害児支援を総合的に確保する。

(2) 地域生活支援事業等の拡充【一部新規】 571億円(495億円)

障害者の理解促進や意思疎通支援など障害児・障害者の地域生活を支援する事業について地域の特性や利用者の状況に応じ、事業の拡充を図る。

(3) 障害福祉サービス提供体制の基盤整備(社会福祉施設等施設整備費) 80億円(69億円)

障害者等の社会参加支援や地域生活支援を更に推進するため、就労移行支援事業等を行う日中活動系事業所やグループホーム、障害児支援の拠点となる児童発達支援センター等の整備を促進する。

(8) 障害児・障害者虐待防止、権利擁護などに関する総合的な施策の推進

① 障害者虐待防止の推進 地域支援促進事業のうち6.1億円(6.1億円)

都道府県や市町村で障害児・障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行うため、専門性の高い職員による家庭訪問や相談等を行うとともに、地域の関係機関の協力体制の整備、関係機関職員への研修等の実施、障害児・障害者虐待の通報義務等の制度の周知を図ることにより、支援体制を強化を図る。

(10) 障害児支援の推進

① 障害児施策におけるインクルーシブな支援の推進【新規】地域生活支援促進事業のうち19億円
児童発達支援センターにソーシャルワーカーを配置し、子育て世代包括支援センター等や市町村子ども家庭総合支援拠点等との連携を促進するとともに、発達の気になる子どもと家族の相談支援を実施する。また、子育て親子等が集まる施設・場へ巡回し、障害の早期発見・早期対応のための助言や戸別訪問による支援を実施する。

(11) 教育と福祉の連携の推進【一部新規】市町村内における家庭・教育・福祉の連携促進及び地域支援対応力の向上を図るため、発達障害、医療的ケア児等について協議を行う場の設置や福祉機関と教育機関等との連携の役割を担うコーディネーターを市町村に配置する。

○ 障害児・障害者の自立及び社会参加の支援等

(4) 障害児・障害者の社会参加の促進【一部新規】 29億円(26億円)

2. 地域移行・地域定着支援など精神障害者施策の推進 223億円(214億円)

3. 発達障害児・発達障害者の支援施策の推進 5.2億円(3.8億円)

(2) 発達障害の初診待機解消 82百万(81百万円)

4. 障害者に対する就労支援の推進 17億円(14億円)

詳細は厚生労働省のホームページ(下記)をご覧ください。

テーマ別に探す	報道・広報	政策について	厚生労働省について	統計情報・白書	所管の法令等
ホーム > 政策について > 予算および決算・税制の概要 > 予算 > 令和2年度厚生労働省所管概算要求関係 > 令和2年度各部局の概算要求					
<h2>令和2年度各部局の概算要求</h2>					

令和元年度 社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会 アート支援事業美術展 作品募集



知的障害のある方々の芸術表現・創作・意欲・よろこびの取り組みと知的障害のある方々の生涯教育を支援する一環として、美術展を開催します。

主催 社会福祉法人 名古屋手をつなぐ育成会

後援(申請予定) 愛知県・あいちアールブリュットパ「トナ-ツツ」事業 名古屋市 中日新聞社会事業団

● 展示場所 熱田区役所 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

● 展示期間 令和2年2月18日(火)～2月21日(金)

● 作品募集要項

(1) 応募条件 名古屋手をつなぐ育成会所属・または賛助会員子弟の知的障害児・者

(2) 応募規定

① テーマは自由。

② 作品の種類と大きさ

i. 油彩画、水彩画、クレパス画、パステル画、アクリル画、版画、日本画、水墨画、写真、刺繍等平面作品は30号(横91cm×縦72.7cm程度)以内

ii. 立体作品 100cm立方以内まで。

iii. 書道は、30号(横91cm×たて72.7cm程度)以内、または横91cm×たて200cm以内の掛け軸等

iv. 共同作品はi、ii、iiiのとおり

③ 出品作品サイズに関らず、1人1点まで。

④ 額について

i. 作品保護並びに展示のため原則として額縁またはパネルを使用してください。

ii. 展示物には必ずひもを付けてください。

(3) 応募期間 令和元年11月5日(火)～令和2年1月16日(木)(締切厳守)

(4) 応募方法 名古屋手をつなぐ育成会福祉会館事務局へ持参

(5) 出品料 1点 300円

(6) 展示について 応募作品が多数の場合、会場に展示できない場合もあります。

● 表彰 応募作品より入賞作品を選出します。入賞作品は会報「手をつなぐ」にて発表し、賞状・記念品をお贈りします。尚、入賞作品は会報「手をつなぐ」の表紙に掲載させていただきます。

● 著作権及び作品の使用について 応募作品の著作権は本人に帰属します。

但し、作品展の広報のため・作品集・当法人会報掲載の際、主催者は自由に使用できるものとしますので、あらかじめご了解下さい。

● その他 ①出品者は、2月25日(火)以降、3月6日(金)までに、本部会館へ作品を取りに来てください。

②応募された方全員に、記念品を贈ります。

● 事務局 (作品の募集・受付、お問い合わせ)

社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会 名古屋手をつなぐ育成会福祉会館

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮四丁目4番5号

TEL (052) 671-6211 Fax (052) 671-6214

名古屋手をつなぐ育成会アート支援事業美術展応募用紙 (コピーしてお使いください)

氏名		年齢・学年	
所属支部名		保護者氏名	
住所			
	電話番号		
作品のタイトル			
作品受付日	令和元年度	月	日

※提出作品の裏面に貼り付けてください。

心と心 ひびきあう

第43回みんなで手をつなごう楽しもう '19 愛のフェスティバル

たくさんの方のお手伝い、ご参加ありがとうございました

10月6日(日)名古屋手をつなぐ育成会会館において、第43回“愛のフェスティバル”が開催されました。この催しは知的に障害のある人が積極的に参画し地域の皆様とふれあい、そして会の事業をご理解、ご支援いただけるたいせつな事業と位置づけて開催しています。

当日は、3年ぶりの晴天にめぐまれた中、名古屋市会副議長 岡本やすひろ様、名古屋市健康福祉局障害福祉部部長 戸松正隆様はじめ36名のご来賓の方々にご臨席賜り、当法人山崎理事長のオープニング宣言でにぎやかに開場しました。バザー部、模擬店部、催事部等、実行委員会の総力を結集したフェスティバルとなり、約1000人の地域の方々や会員の皆様で盛会となりました。各支部の実行委員会の皆様ボランティアの皆様、そして会場設営等に絶大な力を発揮していただいた職員の皆様、ご協力本当にありがとうございました。

プログラム

10:00 開会式典
主催者あいさつ
来賓紹介

10:20 オープニング
ベリーダンス
木村 亜樹さん

10:55 バルーンイリュージョン
石黒 博幸さん

11:30 みんなで歌おう(催事担当)

13:00 カラオケ大会

14:00 閉会のあいさつ



主催者(理事長)あいさつ



来賓紹介



ご来賓控室



ベリーダンスの
観客は男性のほ
うが多いのかな？

バルーンイ
リュージョンを
手伝ってるよ？

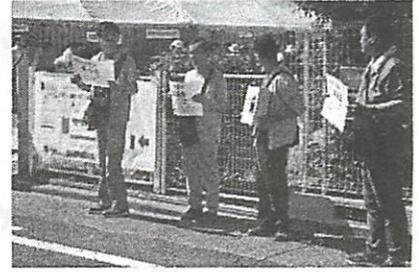




カラオケ
大会。
みんな！
聞いている
かい。



休憩所風景



青年の会活動

南側駐車場ではテントで焼きとり、飲み物、おにぎり、すし、フランクフルト、みたらし、焼きそば、おでん、玉せん、喫茶、太閤ライオンズクラブ、ウエストライオンズクラブ、近藤産興からの寄贈物、各事業所の製品販売とステージ発表がありました。



もっと掘り
出し物がある
はず。

北側駐車場では古本、鞆、靴、CD、DVD、食料品、雑貨、石鹸、タオル、手作り品、アクセサリー、陶器、ガラスの販売をしました。



館内1階いこいの家では福引、2階ではおでんの販売をしました。



当たれ！当たれ！

みんな、がんばって思い
のままに描いたよ。



(後援)

- 名古屋市
- 名古屋市社会福祉協議会
- 熱田区社会福祉協議会
- 朝日新聞厚生文化事業団
- 中日新聞社会事業団
- 中部善意銀行

(協賛)

- 名古屋市特別支援教育研究協議会
- 愛知県知的障害者福祉協会
- 名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会
- 愛知県知的障害者福祉連盟
- 名古屋太閤ライオンズクラブ
- 名古屋ウエストライオンズクラブ
- 近藤産興株式会社

第52回手をつなぐ育成会東海北陸大会石川大会 分科会報告

第1分科会「本人部会」自分や仲間のことを語ろう



コーディネーター 金沢大学附属特別支援学校 校長 山本 仁氏

話題提供 はたらく 静岡県 萩原 学氏
 仲間・友達 富山県 本人活動部会 明るい立山の会 副会長 串岡 達也氏
 恋愛 石川県 中泉 健太郎氏・裕子氏

令和元年9月14日に第52回手をつなぐ育成会とう

かいほくりくたいかいに、さんかをしました。第1分科会
 本人部会にでました。かいじょうの中で、さいしよに、
 けんごとにグループでかこんではなしをしました。

テーマはしごとのこと、生活のこと、しゅみのことを
 はなしました。じしよかいゲームをしました。さい
 しよに、けんめいとすぎなたべものをおしえてください
 といわれまして、ほくはいちごがすぎですと、いいまし



石川県手をつなぐ育成会
 第1分科会「自分や仲間のことを語ろう」

た。とちゅうで、きゅうけいをはさんで、つぎは、ほかのけんのひとたちと、グループ
 でわけていろんなはなしあいをしました。とやまけんからは名古屋のめいぶつはなんで
 すかと、きかれました。なごやのたべものをほかのけんから、いろいろとだされました。
 なごやコーチン、みそかつ、みそにこみうどんと、みやきしめんと、はなしました。つ
 づいて、なごやのめいしよはどこですかと、きかれました。石川けんと、とやまけん
 と、しずおかけんのみなさんから、いろいろとはなしがありました。とやまけんからは、
 立山しでんとチューリップこうえん、はなしをしてくれました。つづいて、しごとの
 こと、しゅみのことも、はなしをしました。しごとのなかでは、ざんぎょうじかんがな
 がくてきついめんもありますので、たいへんですと、石川けんの本にんさんが、いっ
 っていました。

しゅみのことも、いろいろと、はなしもありました。りょこうと、えいがかんしよ、
 げーむのこともはなしました。つづいてさいごに、かくけんごとのグループで、まとめ
 のはっぴょうがありました。
 (瑞穂区 原田信仁)

第2分科会「本人部会」楽しく歌おう 楽しく動こう



コーディネーター 金沢大学非常勤講師 松浦 千賀氏

NPO法人びいすく美川 高橋 孝明氏 中嶋 佳奈恵氏



第2分科会に日がえりでさんかしました。
 れくれいしよんがとてまたのしかった。

みんなでわになってカーテンをうえにあげて みんなでまわりま
 した。さざえさんのおどりもたのしかったでした。

ともだちもできていろんなはなししました。

かえりはみんなで楽しくかえりました。
 ケーキのおみやげもかい、みんなでわけました。
 あとフラダンスのおどりもしました。
 みんながたくさんはくしゅをしてくれました。
 とってもおどりがすばらしかったよ といわれました。

(あらわい 荒輪井グループホーム いわたまさき 岩田正樹)



リズム体操、県対抗の大きなボールを使ったゲーム、太鼓や鳴子おどりに合わせて鳴子を鳴らしたり
 しました。体を動かして楽しく過ごした分科会でした。

第3分科会「教育」

「教育」を考える ～誰もが共に暮らしやすいまちづくりと、子どもの権利～

〈講師・司会者〉 明星大学 人文学部教授 吉川 かおり氏

・地域の学校における障害のある生徒の実態

神奈川県教育委員会教育局インクルーシブ教育推進課 課長 平 容久氏

・医療的支援の必要な生徒への支援の現状 石川県教育委員会事務局学校指導課特別支援教育グループ

担当課長 杉江 哲治氏

・保護者から見た特別支援教育とPTA活動

(一社)三島市手をつなぐ育成会 副理事長 秋山 裕子氏



基調講演の吉川氏は、氏が策定に携わった東京都「立川市障害のある人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を参考にお話しされました。「多様性を認める地域社会こそが、豊かな地域社会であると認識し、一人ひとりが異なることを前提に、お互いを大切にし、認め合い、尊重し、誰もがかがやけるまちを目指す(条例全文より)」ためには、子どもの頃から多様性に対処する力を身につけることが必要であり、そのための教育がとても重要であることから、立川市では子ども向けの条例をわかりやすくした教材を作成されました。条例ガイドブック「みんなの笑顔」は市立小中学校の4年生全児童及び全教職員へ配布され、総合的な学習の時間に活用されます。それを教える教職員の皆さんには、教えるための研修が徹底されるそうです。名古屋市にも必要な取り組みだと思いました。

神奈川県教育委員会の平氏からは、先進のインクルーシブ教育のお話がありました。神奈川県教育委員会では、平成28年度から始まった県立高校改革において、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を拡大するため、インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)を3校指定、令和2年度4月入学生から、県内すべての地域から通えるように、インクルーシブ教育実践推進校を14校に拡大するそうです。もともと、神奈川では小中学校のモデル事業として、すべての子どもが通常級に所属するというみんなの教室を進めていました。その成果を背景に、共生社会をつくる担い手を育てる取り組みとして、高校のインクルーシブ化が進められるとのことでした。

その他、石川県教育委員会の杉江氏から医療的支援の必要な子どもたちの現状報告、三島市育成会の秋山氏から、全国各地で取り組みが進められているふれジョブ…障害のある子どもが地域のジョブサポーター(ボランティア)と、地域の企業で半年間(1週間に1回1時間、お仕事を体験する地域活動…)を特別支援学校のPTAで取り組んでいるという実践談をうかがうことができました。

大変聞きごたえのある研修内容でしたので、名古屋からの参加者が少なかったのがとても残念です。

(評議員・山口美佳)

（公社）
 石川県手をつなぐ育成会
 第3分科会「教育」

第4分科会「地域生活」

〈講師・司会者〉 全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター委員 機関誌手をつなぐ編集委員 又村 あおい氏

- ・私のまちでの共生社会の取組み (社福)高水福祉会 理事兼統括部長 野口 直樹氏
- ・入所施設と地域とのかかわり (社福)名古屋手をつなぐ育成会 サポートセンターbeing 小本 センター長代理 川口 美奈氏
- ・グループホームの整備を進めるために (特非)福井県手をつなぐ育成会 常務理事 日向 明世氏

始めに基調講演として又村氏がこれからの住まいの場について説明された。権利条約の批准から今は当たり前「地域生活」を選べる社会になってきている。住まいの場として、自宅、GH、入所施設だけでなく、日中サービス支援型GH、シェアハウス、サテライト型の一人暮らしなど新しい暮らし方を紹介された。地域定着支援事業については、一人暮らしの方(条件あり)にとっては24時間の相談支援が受けられる心強いサービスだが課題はやはり人材確保と資金調達。これからの「障害者等の居住支援」のあり方については、「居住支援協議会」「居住支援法人制度」の概要を話された。



次に長野県の野口氏が福祉事業所のスタッフ14名が50名の利用者を24時間365日支える取り組みを紹介された。入所施設、地域にこだわらず選択肢をたくさん創り、画一的な生活や支援をなくしたいと話された。

次に当法人の川口氏はbeing小本と地域とのかかわりについて話された。取り組みとして学区の高齢の方々80名をシニアランチに招待する、学区の消防団に職員を派遣する、保護観察者地域貢献事業として、施設内での行事の企画などを行っている。施設の機能を最大限に提供して地域との関係を構築しており、職員のご苦労が窺えた。

最後に福井県の日向氏が親の立場から娘さんのGH生活と今後のGHの課題を話された。地域との希薄さ、制度が整ってきたことによる親の無関心さも挙げられた。障害のある人の支援をしている人を支えようという考えは、親亡き後も支援して頂けるような人材創りに繋がり共感した。

この分科会で、一人ひとりに合った様々な暮らし方があるが課題は人材不足であり、日本社会の人口減少から来ると感じた。障害のある方が親亡き後も安心して暮らせる社会になることを強く願う。(理事 木崎真理子)

第5分科会「就労」

〈講師・司会者〉 毎日新聞社 論説委員 野澤 和弘氏

- ・私が働くことの生きがい(本人) 一般就労 (有)船坂酒造店 パート職 岨ノ下 陽子氏
- ・働き続けるために必要な支援 尾張北倍障害者就業・生活支援センターようわ センター長 田代 波広氏
- ・障害者を雇用する企業から(事業主) ふあみーゆツダコマ株式会社 課長補佐 鈴木 紀子氏



講演の前半、講師：野澤氏より就労をめぐる課題として6つの課題があがる。①働く障害者の増加②中央官庁の水増し雇用③民間企業でのアリの雇率達成④離職率の高さ⑤やりがいのある仕事とは⑥これからの社会と働くである。特に気になった課題として④離職率の高さがある。障害者は1年以内に4割以上が離職しているに比べ、健常者は1～2割である。その差は就労の場での合理的配慮が足りない部分から発生していることが考えられる。具体的には(障害への)無理解+厳しい指導(ここは福祉の場ではない、給料を払っているのだからなど)がある。実際に身体障害に対して車いすトイレは甘えだから一般のトイレを使えとならないが、知的障害に関しては目では見えにくいので、指導の部分に配慮がしにくい。後半のシンポジウムの部分では障害者本人(岨ノ下氏)、支援者(柏木氏、田代氏)、企業(鈴木氏)がそれぞれの思いや支援内容について話をした。ここで心に残ったことは本人のできることでできないことを伝え、企業側にきちんと障害を受け止めてもらいながら障害者が雇用率ではなく戦力として働いていくことが大事ということである。

今後障害者の就労として、障害者のできることで企業、地域の仕事を一致させることで少子高齢化、地域社会の崩壊などの社会の大きな課題を解決するカギとなり、結果的に共生社会の進展が図られるという未来図を見せ、部会は終了した。

(ジョブサポートセンターbeing 桜山管理者 武居建二郎)

第6分科会「高齢化」

〈講師・司会者〉 全国手をつなぐ育成会連合会 統括 田中 正博氏

- ・福祉サービスと介護移行への備え (一財)三重県知的障害者育成会 専務理事 小林 えり子氏
- ・高齢化を支える支援とは 「親なきあと」相談主宰 行政書士・社会保険労務士 渡部 伸氏
- ・「親なきあと」への備えを考える 富山県手をつなぐ育成会 権利擁護委員会 委員会 細川 瑞子氏



講師・司会者の全国手をつなぐ育成会統括田中正博氏からは、65歳になると介護保険の利用もでき、残りの人生をより素晴らしいものにするために様々な制度の利用が望まれるなどの講義をされた後に、3人の提言者からの発表がありました。

三重県手をつなぐ育成会の小林えり子氏からは、安心、安全な介護保険のサービスを理用がなされた利用者の事例の話があり、また、子が65歳になった時、環境の急変がないよう自分の住み慣れた街で生活ができることが幸せであると提言されました。行政書士であり、「親なきあと相談室」を開設された渡部伸氏からは、親たちが早い段階から親なきあとの準備をすることが大事で、困った時、悩んだ時、相談ができる駆け込める場所が全国に広がっていくことが望まれると提言がなされました。富山市手をつなぐ育成会の細川瑞子氏からは、県育成会に権利擁護推進委員会の設立の経緯と「学齢期支援」「親なきあと研究事業」の2つのプロジェクトの発足の話があり、研究事業では、地域で安心、安全に支援を受け生活ができるのかという親の不安が集約なされたことを受け、本人主体の地域で生きていくことを大前提に親自らが仲間とともに様々な活動(行動)をしていかなければならないと発表がなされました。

質疑応答では、介護度でサービス支給を受ける介護保険の確認や制度格差もあり薄い支援である自治体であればそれぞれの地域の育成会で行政などに働きかけていくことが必要であるなどが検討されました。

(サポートセンターbeing 吹上 山田雅彦)

第7分科会「育成会活動」

〈講師・司会者〉 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保 厚子氏

- ・全国連合会、県育成会、「地区育成会の役割と連携 静岡県手をつなぐ育成会 会長 小出 隆司氏
- ・小さな組織でも活動の「質」を高める 金沢手をつなぐ親の会 キャラバン隊ひまわり 会長 大橋 和史氏
- ・地域共生社会を目指すネットワーク作り (社福)名古屋手をつなぐ育成会 理事 濱田 智恵実氏

今回第7分科会「育成会活動」に参加させて頂きました。

実際に育成会の会員さんで、障害者の親という事でのお話しが、色々聴ける事ができ良かったです。

今の時代は、ネット社会で、何でも検索が出来るが、やはり先輩お母様方のリアルな姿、声が聞けるのは大切。「育成会」ならではの。。。とお話しが心に残りました。

今の日本は、物と情報だけ厚くなり、心は逆に薄くなっていると私は思い、少し寂しいです。

これからも、たくさんの先輩お母様、後輩お母様、支援者さんのお話し、意見などを聴いて自分に吸収して行きたいと思っています。

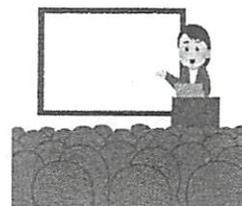
「知的障害を理解していただく事が、支援につながる」

私も疑似体験を区民まつりで、行っております。体験して下さった方は、「知的障害の方はこんな感じに見えたりするのね。知らなかった、今回わかって良かった。困った人がいたら声を掛けたり、見守ったりしますね。」と言って下さいます。そんな時は私も胸が熱くなりうれしくなります。地道な活動かもしれませんが、今の自分のできる事をしてみなさんに少しでも理解して、支援につながって行けたらとおもいます。

「顔と顔の見える関係を作りましょう」とのお話しがありました。

せっかくみんな素敵な顔をもっているのだから、たくさん、たくさん、外に出てよい関係を作れたらいいなと思いました。とても勉強になった一日でした。ありがとうございました。

(サポートセンターbeing 瑞穂保護者 古波蔵洋子)



令和元年度 療育巡回事業 いこいの家ティー&トーク(夏期)を開きました!

乳幼児期、お子さんの発達に心配があると保護者は毎日不安でたまりません。そんな保護者の皆さんの心配を少しでも緩和するために、名古屋市は親子でいつでも通える場所「いこいの家」を設置し(現在13か所)、育成会は3か所のいこいの家を運営しています。

今期もいこいの家を利用されているお母さんたちのお悩みをお聞きしてきました。

○未熟児で生まれたため病院に通っていて、2歳過ぎにことばの遅れがあるため療育を勧められ療育センターに問い合わせたが訓練はまだ早いと言われ経過観察となった。しかし、療育センターからも保健センターからもいこいの家を紹介されず、たまたま医師がいこいの家を紹介してくださったので保護者の悩みも少し和らいだ。

○療育センターの初診の待機が長いので初診を早く受けられるようにしてほしい。

○買い物時、欲しいものを買ってもらえないとだだをこねてしまう。父親が甘くしてしまう。

○父親や祖父母になかなか理解してもらえない。どのように伝えたらよいか。

○幼稚園では問題ないが、家だとかんしゃくを起こしてしまう。

○こだわりが強い(例えばオムツを右足からはきたい時一度脱いでやり直す等)

○幼稚園等、入園の際に我が子のことをどのくらい園側に伝えればよいのか。

○小学校の通常級で3年過ごしたが校内にある発達障害児通級指導教室に行くか迷っている。(通級すると同級生から差別を受けることはないか、心配。)

支援学級に行ったとしても、通常級と交流もあまりないようだ。

○トイレトレーニングが進まない。

○天神山いこいの家の冷房が効かないので新しくしてほしい。



・・・等、様々なお話がありました。私たちは我が子の子育て経験からお答えしましたが、お母さんたちは皆さん口をそろえて、「いこいの家に通うようになってことばが出てきた。」「お友達とのかかわり方がわかるようになってきた。」「同じ悩みをもつママ友ができた。」と喜んでみえました。

いこいの家は我が子の発達に心配があるご家族(特にママたち)がいち早く安心でき、「悩んでいるのは私だけじゃない、また頑張ろう!」と思える場所になっています。周りの方々がお子さんの発達につまずきを発見された時、少しでも早くいこいの家の存在をお知らせして下さることを願っています。
(文責・濱田智恵実)

天神山いこいの家

8/9(金)11:00~12:00

参加者: 親子7組

あつたいこいの家

8/9(金)11:00~12:00

参加者: 親子3組

桜山いこいの家

8/7(水)13:00~14:00

参加者: 親子3組

ティー&トーク担当: そだつ・はたらく部会 濱田、山口、宮原

名古屋手をつなぐ育成会生活支援センター相談事業のご案内

☆育成会相談室 悩みご相談のある方ご利用ください。電話相談もしくはお電話の上ご来館ください。

生活支援センター長 山崎 梅治		
曜日	相談受付内容	担当者
月曜日	生活等相談	武藤 真理子
火曜日	成年後見・権利擁護の相談、生活等相談	永田 さよ子
水曜日	就労生活相談、生活等相談	綱木 みどり
木曜日	生活等相談	木崎 真理子
第1・4・5金曜日	幼児期・学齢期の相談、生活等相談	山口 美佳
第2・3金曜日	幼児期・学齢期の相談、生活等相談	濱田 智恵実
巡回相談	成年後見・権利擁護の相談、生活等相談	永田 尚子

※旧優生保護法に関する相談も受付けています。

社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会 事務局

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮四丁目4番5号

TEL(052)671-6211 (代) Fax(052)671-6214

平成31年4月1日「中川区地域活動支援センター はぼたん」を開所いたしました。心の不調で仕事や日中活動の場所に通うことができない方に過ごしていただくことや、障害の理解啓発活動をしていく場所です。卓球や紙飛行機のプログラムに人気があり、はじめはあまり外出できなかった方が、プログラムを楽しみにされて少しずつ通えるようになってきています。利用されている方はプログラムに参加されたり、仲良くなった方とお話をされて過ごされるなど、和やかな雰囲気心の落ち着ける場所になっています。

中川区地域活動支援センターはぼたんでは、今後も居場所として過ごしやすい環境をつくり提供するとともに、障害の理解啓発活動を進めています。

中川区障害者基幹相談支援センター お気軽にのぞいてみてください。(市内どこからのご相談も受け付けます。)開設日・時間 月～金曜日 第2・4土曜日(9時～19時)

〒454-0869 名古屋市中川区荒子一丁目141-1 奥村マンション1階

TEL(052)354-4521 (直) Fax(052)354-2201

地下鉄東山線高畑駅3番出口徒歩8分・あおなみ線荒子駅下車西へ徒歩8分

行って見て聞いて

Information

イベント名：障害者週間記念のつどい

日時：2019年12月8日(日) 10:30～15:30

会場：中区役所ホール 名古屋市中区栄四丁目1-8

内容：午前 映画 「いろとりどりの親子」

午後 映画 「精神病院のない社会」

合唱 少年少女合唱団 地球組

ふれあい教室(12月)

14日(土) リズム体操

天白区

10月
15日(日) 料理

中川区

各区・各会

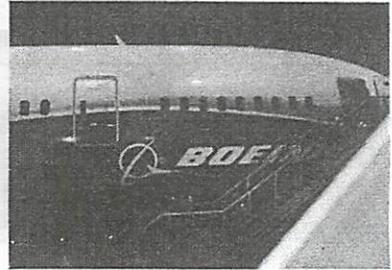
港区手をつなぐ育成会

サマー社会見学に行きました。

7月14日(日)に市バス・名鉄電車を利用し、公共交通機関でのマナーを学び、空港でのイベント・昼食を楽しむことを目的として、中部国際空港・フライトオブドリームズへサマー社会見学に行きました。



フライトオブドリームズ内で各自好きなものを食べ、その後親子またはボランティアさんとともに各イベントを回り、「帰りはミュージカに乗りたい」と希望する方もいたので、現地解散とし、一日楽しく過ごしました。先日空港の第二ター



ミナルオープンのニュースを見て「この間行った空港だね、ご飯を食べた所を通って行くんだって」と言っていたという話も聞かれました。

港区手をつなぐ育成会

盛況でした! ~小本ふれあいフェスティバル~

サポートセンター-being小本

台風の進路にやきもきしながら迎えた令和元年9月8日(日)は・・・35℃に迫る夏の青空が広がりました。無事の開催にまずはホッ。

23回目となるこのお祭り、地元の方にはすっかりおなじみのようで、中には開始時間前から外で待っておられる方々も。そんな期待にお応えすべく、今年も小本ストレッチチームによるダンス披露、職員や保護者は模擬店・バザー品販売に奮闘、それぞれが出来ることを頑張りました。



午後のステージではZIP-FMのDJとしてもお馴染みのジェイムス・ハイブンス氏が登場、歌&トークで賑やかに盛り上げてくださり、無事お開きとなりました。お手伝いいただいたボランティアの皆様にも心より感謝申し上げます。



今年は暑さとの闘いとなりましたが、「雨男」の称号はこれで返上ですね、センター長!

保護者会副会長 渡辺 恵美



本人参加のページ



サポートセンターbeing吹上

昭和区の福祉まつりに参加しました

8月18日(日)、第37回昭和区の福祉まつりが昭和区役所にて行われました。

わらび餅やみたらし団子・クッキーなど模擬店やわなげ・バザー品の買い物など楽しみました。午後からは近年恒例となっているすいか割りを行いました。スイカも甘くて美味しかったですね。



昭和区民まつりに参加して
つめたいわらびもちを食べました。
ゆでぎざ弁当を食べました。
昼からすいか割りでしたが
楽しかったです

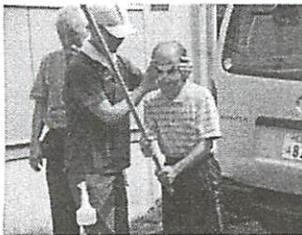
伊藤 晴

ふくしまつりに行きました。
すいか割りもしました。
すいかかき割りです。

鈴木 健一

ふくしまつりに行きました。
リネア91Dを飲めました。
わなげバザーも買いました。
スイカも食べました。

井上 知子



わなげと買い物でわらびもちとわなげのすいか割りも楽しかったです。
すいかも甘くて美味しかったです。
スイカも美味しくいただきました。

谷口 伊織

例会のお知らせ

	11月	12月
支部活動対策部	5日(火) 区長要望検討、本部支部共通要望について	3日(火)支部活動の課題 8日(日) 「障害者週間」記念のつどい
そだつ・はたらく部会	16日(土)金銭教育	お休み
くらす・こうれい部会	お休み	お休み
まもる部会	お休み	19日(木)生活支援ノート作成
支援プロジェクト部会	12日(火) (市社協)差別相談センターにて ワークショップ実施	お休み
会長会	21日(木)	12日(木)
広報啓発委員会	原稿締切 1日(金)	原稿締切 6日(金)
会報編集	編集会議 6日(水) 編集・校正 14日(木)	編集会議 10日(火) 編集・校正 13日(金)

表紙について 「私の好きなアニメのキャラクター」

私はアニメが大好きです。絵もいっぱい描いています。ダイアナバリー(赤毛のアン)、しずかちゃん(ドラえもん)、ポリアンナ(ポリアンナ)、虹野ゆめ(アイカツ)、ルビーギリス(赤毛のアン)を描きました。

— 瑞穂区手をつなぐ育成会 中村 円香さん —

◎ 一般寄附

昭和区日曜学校様

9月計

5,000円

9月*名古屋手をつなぐ育成会事業・行事

- 8日(日)・第23回小本ふれあいフェスティバル
於サポートセンター being 小本
- 15日(日)・福祉青年教室

*名古屋手をつなぐ育成会会議等

- 3日(火)・支部活動対策部 於第1会議室
- 5日(木)・第240回業務運営連絡会 於第1会議室
・広報・啓発委員会 於第1会議室
- 6日(金)・愛のフェスティバルバザー一部 於3階ホール
- 6日(金)・広報・啓発委員会 於第1会議室
- 10日(火)・広報・啓発委員会 於第1会議室
- 11日(水)・くらす・こうれい部会 於豊明福祉会
- 12日(木)・広報・啓発委員会 於第1会議室
- 17日(火)・愛のフェスティバル模擬店部 於第1会議室
- 18日(水)・アート支援事業会議 於第1会議室
- 19日(木)・9月期会長会 於3階ホール
- 24日(火)・GH世話人会議 於3階ホール
・センター長・管理者会議 於第1会議室
- 24日(火)～・愛のフェスティバルバザー一部値付開始
於第1会議室・ロビー
- 27日(金)・アート支援事業 熱田区美術展見学
於熱田区役所
- 30日(月)・アート支援事業会議 於2階食堂

*各区・各会行事

- 1日(日)・令和元年度なごや市民総ぐるみ防災訓練
育成会支部参加状況
育成会区支部・事業所参加(▲)
千種区 於千代田橋小学校▲
東区 於桜丘中学校 旭丘小学校
北区 於北陵中学校
西区 於なごや小学校
中村区 於豊臣小学校
中区 於新栄小学校
昭和区 於川名公園▲▲
瑞穂区 於中根小学校▲
熱田区 於大宝小学校▲
中川区 於西前田小学校▲
港区 於港西小学校
南区 於笠東小学校
守山区 於大森小学校
緑区 於相原小学校▲
名東区 於上社中学校
天白区 於山根小学校
- 2日(月)・西区育成会 西区手をつなぐ育成会60周年記念事業会場下見
於KKRホテル名古屋
- 7日(土)・天白区育成会 夏休み日帰り旅行
於若狭フィッシャーマンズ・ワーフ(蘇洞門めぐり)

・西区育成会 第2回西区手をつなぐ育成会60周年記念事業実行委員会

於天神山いこいの家

・中川区育成会 「伊勢湾台風60年市民防災の集い」へ行こう!!

於大同大学滝春キャンパス

8日(日)・中区育成会 令和元年度親子旅行
於中部国際空港セントレア フライト・オブ・ドリームス

11日(水)・南区育成会 青年部保護者お食事会
於鈴のれん堀田店

12日(木)・千種区育成会 幼児部コアラの会
於乗西寺

13日(金)・さわらび園 心身障害児の母親研修会
於あさみどり会館内研修室

14日(土)・港区育成会 第41回障がい児者ふれあい作品展を見に行こう 於港区役所講堂

15日(日)・中村区育成会 大運動会
於北スポーツセンター

20日(金)・サポートセンター being 瑞穂 保健学習
於サポートセンター being 瑞穂

22日(日)・千種区育成会 ランチ作り&レクレーション
於千種生涯学習センター

25日(水)・中川区育成会 区長要望について話し合おう
於中川区役所

26日(木)・南区育成会 知的な発達に心配をお持ちの方の「なんでも相談交流会」
於南生涯学習センター

28日(土)・港区育成会 第32回港区ふれあい広場
於港区役所・港北公園

29日(日)・南区育成会 令和元年度大同特殊鋼「第46回秋の祭典」
於大同特殊鋼(株)星崎工場グラウンド

30日(月)・天白区育成会 第25回地域交流(学習会)
「お子さんの就学について」 於天白役所

*他団体関連事業・行事

- 10日(火)・成年後見制度利用促進に関する懇談会
於名古屋市役所 永田副理事長出席
- 14日(土)～15日(日)・第52回手をつなぐ育成会 東海北陸大会
於石川県地場産業振興センター 永田副理事長他出席
- 20日(金)・愛知県社会福祉協議会心身障害ホーム部会
於愛知県社会福祉会館 古川常務理事出席
- 25日(水)・第1回名古屋市発達障害者支援センター運営連絡会
於名古屋市発達障害者支援センター 濱田理事出席
- ・障害者と市民のつどい交流ひろば打ち合せ
於わっぱ共生・共働センター 武田事務局長出席

この印刷物は
共同募金の配分を受けて
作成したものです

